

「がんプロフェッショナル養成プラン」による本学における「口腔がん専門医養成コース」の概要

口腔がん専門医養成コースを希望される方は、以下の3つの講座から選択し所属することとなります。

- 口腔外科学講座(千葉校舎)
- オーラルメディスン・口腔外科学講座(市川総合病院)
- 口腔健康臨床科学講座 口腔外科学分野 (水道橋病院)

1.がんプロフェッショナル養成プランとは・・・

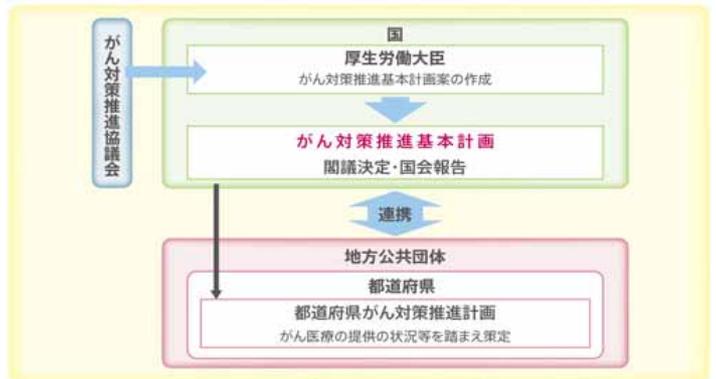
「がんプロフェッショナル養成プラン」は、がん治療の「地域均てん化」を目指した文部科学省の施策で、全国の大学に臨床腫瘍医を養成する大学院を立ち上げ、最適ながん治療を国民がどこにいても受けられるような、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、放射線技師等の育成を目的としています。地域の拠点でがん医療の担い手を育成することが目的で、教育的な連携がとれる範囲内で意を同じくする大学が共同体としてプログラムの運営をしていくことが基本です。

本学は平成20年度から南関東エリアにおける先端のがん治療の均てん化を目指し下記の大学院13研究科によって構成される「南関東圏における先端のがん専門家の育成 - 患者中心のチーム医療を牽引する人材育成の拠点づくり -」の共同申請校として採択されました。全国で歯科単科の大学として採択されたのは本学が唯一です。

平成20年度から大学院歯学研究科に「口腔がん専門医養成コース」を設け、従来の大学院生とは異なった教育プログラムを編成して、将来口腔がんの医療現場でリーダーシップを発揮できる人材の育成を開始しましたので概要を紹介いたします。

北里大学大学院医療系研究科 山梨大学大学院医学工学総合教育部
看護学研究科 歯学研究科 首都大学大学院東京人間健康科学研究科
慶應義塾大学大学院医学研究科 聖路加看護大学大学院看護学研究科
健康マネジメント研究科 歯学研究科 信州大学大学院医学研究科
東海大学大学院医学研究科 東京歯科大学大学院歯学研究科
聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科

がん対策を総合的かつ計画的に推進



がん予防および早期発見の推進

- がん予防の推進
- がん検診の質の向上等

がん医療の均てん化の促進等

- 専門的な知識および技能を有する医師その他の医療従事者の育成
- 医療機関の整備等
- がん患者の療養生活の質の維持向上
- がん医療に関する情報の収集提供体制の整備等

研究の推進等

- がんに関する研究の促進
- 研究成果の活用
- 医薬品および医療機器の早期承認に資する治験の促進
- 臨床研究に係る環境整備

国民

2.「口腔がん専門医養成コース」の特徴

本コースは修了後に直ちに医療現場で活躍することができる専門性をもった臨床医の育成が目的である。カリキュラムは口腔外科の基本的知識と技能を習得後に、口腔がんについての基礎的知識の習得、診断と治療に関わる臨床的な知識・技能・態度を身につけることを目的とし、実地修練が中心になる内容で編成。

研究者としての基礎教育を施しつつ、本学市川総合病院(21科550床)に設置された口腔がんセンターにおけるコースワークの充実による実践的な知識・技能の養成。

臨床修練をコースワークとすることで、単位履修にとらわれない症例ごとの患者中心の臨床修練を実践。

研究テーマは基礎的研究に偏ることなくその結果を臨床に直ちに還元できるいわゆるTranslational researchを基本として学位論文を作成。

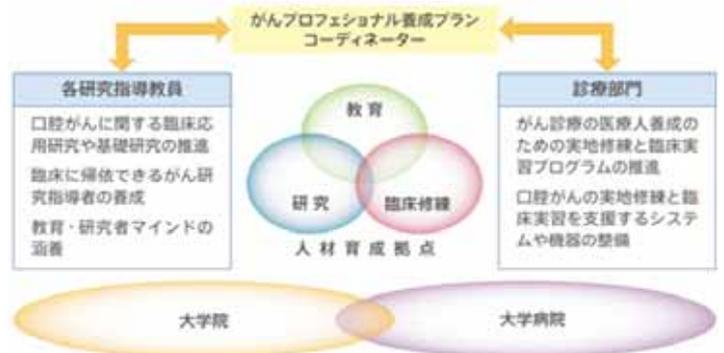
口腔外科専修医、専門医資格取得のための臨床修練のカリキュラムを展開。

インテンシブコースとして、歯科医師・歯科技工士を対象にした「顎顔面補綴」、歯科医師・歯科衛生士・看護師を対象にした「がん医療における口腔ケア」のコースを設置。

修了時に期待される人材
単独で口腔がん患者の診断・治療・リハビリテーション・経過観察をマネジメントできる能力の習得を目指す。

3.コースプログラム

優れた口腔がん専門家を養成するための横断的な教育プログラムの構築と実施 実地修練を支援する体制の整備





4. インテンシブコース

大学院のコースに併設して以下の2つのインテンシブコースを設け、海外の実情を視察し、がん医療の現場で活躍できる歯科医師ならびにコデンタル、コメディカルスタッフの人材育成を図る

顎顔面補綴コース(対象: 歯科医師、歯科技工士)

口腔がん・頭頸部がんの治療により生じた組織欠損と機能障害を歯科補綴の技能により改善する基本を習得することを目的とする。現在まで歯科医師と歯科技工士がコラボレートした教育体制が少ないため、本コースによりその充実を図る。手術場での顎義歯の調整と装着、CAD-CAMシステムによる術前からの顎義歯の作成など、治療の質の向上のために補綴分野を積極的に参加させる。

がん医療における口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーションコース(対象: 歯科医師・歯科衛生士・看護師)

口腔がん・頭頸部がんは勿論のこと、がん医療の現場で、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーションの指導とリーダーシップがとれる歯科医師・歯科衛生士・看護師を育成する。がん医療における地域医療連携で、一般の歯科診療所の歯科医師と拠点病院での治療の橋渡しができる歯科医師を育成する。

5. 期待される成果と今後の展開

(1) 期待される成果

- ・本コースの修了者は、Translational research mindをもって「口腔がんの診断・治療の医療現場」でリーダーシップをとれ、かつ「がん医療の現場」において歯科医療が果たす役目を見極めてそれを実践できる人材となつて歯科医師が「がん医療」の現場で新たな評価を受けて活躍する魁となることを期待する。
- ・さらに、医療法改正によるいわゆる4疾患5事業、後期高齢者医療制度による在宅医療に歯科が参画してゆくために、本養成プランで習得した知識と技能を活用して、基幹病院においてそのコーディネーターとして活躍することを希望する。

(2) 今後の展開

- 1.臨床修練のコースワークの展開とその評価法の検討
- 2.手術シミュレーションシステムなど教育材料の開発
- 3.インテンシブコースの担当教員の育成と企画・実行
- 4.本プログラムに関連するセミナーの企画・開催
- 5.カリキュラムの整備と情報発信
- 6.本コース修了者の活躍の現場の確保